

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：梅村 昌孝

幹事：湯澤 眞生

クラブ委員長：北岡 寿人

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2022-23年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「かけがえない時間を取り戻そう」
～ウイズコロナ・ポストコロナ時代に向けて～

2022-23年度
国際ロータリーのテーマ
大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して
(IMAGINE ROTARY)

第2035回例会

～職業奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2023年1月19日(木) 晴 第22回例会

司会：鳥山 政明 親睦活動委員長

斉唱：「我らの生業」

ゲスト：講演家 腰塚 勇人さん

会長挨拶

梅村昌孝会長

皆さんこんにちは。高橋大輔さんという探検家をご存知でしょうか。アイススケーターの高橋さんではなく、秋田在住の探検家です。この度イギリスの「王立地理学会」が彼にイギリス王室が認める地理学者の称号を授与したそうです。高橋さんは元々サラリーマンで、2003年に探検家になることを志して36歳で脱サラされたことも驚きですが、それより私は探検家という職業があることに驚きです。



高橋さんは2年かけてロビンソン・クルーソーの家の跡を発見されました。ダニエル・デフォーの小説に出てくる主人公の名前ですが、モデルとなった人物が住んだと言われる家の跡を南米チリで見つけたそうです。彼の科学的なアプローチが世界的な権威にある学会から評価されたと言われています。高橋さんの現在のテーマは、日本各地にある浦島太郎の真実をウミガメの回遊を調べて科学的に探求しているそうです。ひょっとすると本当にどこかに竜宮城はあるのかもしれません。あるのなら行ってみたいという方もいらっしゃると思います。ちなみに、おみやげの玉手箱は開けますか？私ならきっと開けません。

また高橋さんのように、今の仕事を辞めて第2の人生を始めるとしたらみなさんはどんなことをすると思いますか？探検家になりたいという方はいらっしゃると思いますが、私ならやるとしたらもう人を相手にする仕事は充分かなと感じます。特に医療関係はもうたくさんです。また、みなさんはどうしていまの職業に就きたかったのでしょうか？私の場合はいまの職業に決めたのは高校を卒業する時で、思い出してみればとても打算的な理由で今の職業に決めていたようです。もう少し人のためになるうとか、世の中のためにとか考えて将来を決めたように思っていました。それでもありませんでした。ちょっと反省しました。

出席報告

今川知也 出席委員

会員68名 出席48名 (出席計算人数53名)

出席率 80%

ニコボックス

今川知也 ニコボックス委員

- ・おめでとうございます。本年もよろしく。 岩本 成郎さん
- ・1月24日は家内の誕生日です。 渡辺喜代彦さん
- ・新年あけましておめでとうございます。また、妻の誕生日にきれいな花ありがとうございました。 長坂 邦雄さん
- ・大嶽ちゃんの遅刻には、まいりました。 内田 久利さん

- ・本年もよろしくお祈りします。 中嶋 修さん
- ・1/2、52才になりました。イノシシ年のB型は今年一番運氣が良いとニュースで言っていました。楽しい一年になると良いです。 村上 学さん
- ・先日、鱒釣り好きの皆様と新年会をしました。楽しかったです。ありがとうございました。 鈴木 淑久さん
- ・本年も宜しくお祈りします。年末より体調をくずし、寝正月してしまいました。皆様、お体にご自愛ください。 長谷川 隆さん
- ・皆さんこんにちは。今年もよろしくお祈りします。 内藤 晶文さん

幹事報告

湯澤眞生幹事

- ・1/19(木)
13:40より第7回理事会、第4回クラブアッセンブリー
ヒルトン名古屋4F「杉の間」
- ・1/26(木)第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)
ヒルトン名古屋4F「竹の間」 ※本日出欠び切
13:40～第2回クラブ奉仕委員会
ヒルトン名古屋4F「杉の間」
- ・2/2(木)4RC合同例会(昼)
※時間もいつもより早くスタート10分遅く終了
11:30受付 12:00例会 13:40例会終了
当クラブホストの為、関係各位は準備お早めをお願いします。
※出欠変更はお早めをお願いします。

委員会・同好会報告

スキー温泉同好会

先日、事務局からスキーツアーのご案内を皆様にご連絡させていただきました。2月17日18日の1泊2日で、志賀高原サンパレーのスキー場の下、ピワ池ホテルにお泊まりをいただきます。朝6時集合出発1泊2日で翌日の18時に帰ってくるご案内でございます。締切は来週月曜日でご案内申し上げております。ご参加希望の方は事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

1月お誕生日おめでとう

天野 正明さん 稲葉 徹さん 村上 学さん
横山 請悟さん 田中 宏さん 田中 英雄さん
山口 哲司さん 市岡 正蔵さん 岩田 修司さん
野崎 洋二さん

卓話

講演家 腰塚 勇人さん

瑞穂RCの皆さん、こんにちは。ただいま紹介いただきました腰塚です。これから短い時間ですが、よろしくお祈りします。梅村会長はじめ、皆様とご縁をいただきまして、本当にうれしく思っています。



先ほど会長さんが自分のなりたい仕事に就いていますか。と仰い

した。私は教師になることが夢でした。高校まで本当に小学校から高校までとても学校が楽しくて素敵な先生たちに出会えて、こんな自分が教師になって、子供たちに学校って楽しいぞ。と伝えたくて教師になりました。

「命の授業」今日は皆さんに伝えたい言葉が2つあります。一つは「ドリー夢メーカー」もう一つは命の喜び幸動～5つの誓い～です。

もともとは中学校の体育の教師でした。2002年3月1日、奥さんと長野にスキーに行っていて、調子によって滑っていて、そこで転びました。頭からアイスバーンの中に突っ込んで、首の骨を折りました。呼吸は止まりそうになるし、手足はまったく動かなくなるし。救急車で佐久総合病院に運ばれ、緊急手術になりました。4時間にもおおよぶ手術は無事に終わりました。手術は成功して命は助かりましたが、麻酔から目が覚めた私の手足はどこも動きませんでした。首から下の感覚がなくなりました。奥さんはドクターから、「一生寝たきりか、良くて車椅子になるでしょう」と言われました。そこから色々な意味で辛かったです。

人生には3つの坂があります。皆さん、ご存知ですか。1つ目の坂は上り坂という坂です。右肩上がりで、結構いい感じで色々なことが上手くいっている、そういう坂。2つ目の坂は下り坂。今調子よくない、色々なことが上手くいっていない、そういう坂。3つ目の坂は、なんだかわかりますか？「ま・さ・か」という坂なんです。まさかこんなことが起きるかということ。

私は、2002年3月、中学校の教師でした。中学2年生の担任をしていました。道徳の時間や保健体育の授業で生徒たちに、こんなことを伝えていました。「命は大事だよ、命は尊いものだよ」、「友達の命、周りの人の命も大切にしないでいいよ」って何度も伝えていました。そんな時、私の中には、交通事故で亡くなった生徒の顔や、白血病で亡くなった大事な友人の顔がいつも浮かんできます。そして彼らは私に「命は有限だよ」「命には限りがあるんだよ」と教えてくれるんです。命がいつ終わるかなんて誰にも分からない。いつまさが起こるなんて、想像もしていなかった。彼らの分まで精一杯生きるんだという想いがだんだんと薄れていくことさえ気が付かなかった。

そんな中の2003年3月。転んだ瞬間、首からバキって音がして、転がりながらやっと止まって、目をあけると曇り空が見えて、「ああ、俺は生きている、助かった」と思いました。でも呼吸がうまくいかなくて、苦しくなって、さっきのバキッという音は首の骨が折れた音だと分かりました。36歳でした。「こんな所で死にたくない、まだやりたいことが沢山ある、誰か助けてくれ」って泣き叫びました。手術が成功して、命が助かって、周りの人はよかったねと言ってくれたけど、手足はまったく動かなくて、口から出た言葉は、「俺の人生、終わったー」「あの時、あのまま死んでおけばよかった」。死にたいと思った自分がいました。首から下が動かなくてこれからどうやって生きていくんだよ、そう思いました。

改めて思うことです。ケガをする前の生活がどれだけ幸せだったか。今私は、障害があります。右半身は強い麻痺が残っています。また排泄障害もあります。もともと右利きでしたが、今は左手でおはしが使えるようになりました。ケガをする前の自由に動く身体があるってことは、どれほど幸せだったのか。

入院中の苦しく、辛かった時に私の命に生きる光と勇気を与えてくれた人が居ました。その人のことを「ドリー夢メーカー」と呼んでいます。このドリー夢メーカーには別名があります。リスクテイカー、パワーチャージャー、ほっとマン、on人、ドリーマン、モデル。

ケガをした時、私にとっての一番のドリー夢メーカーは両親でした。母親は私の姿を見て「代わるものなら私が代わってあげたい」と言い、父親は「病院を退院したらうちに奥さんと一緒に戻っておいで」と言ってくれました。そして毎日病院へ通ってくれ、世話をしてくれた奥さんはまさにパワーチャージャーでした。

ドリー夢メーカーには敵がいました。その名も「ドリー夢キラー」夢のぶち壊し屋、人の悪口や不平不満を言い、でも、だって、どうせと言いつつばかりです。このドリー夢キラーは周りにも、自分の中にもいました。心が悲鳴をあげていました。苦しくて、辛かったのに、助けてが言えませんでした。「俺はこれ以上頑張れない」そんな時に一人の看護師さんが「腰塚さん、今は、助けてって言っているんですよ、助

けてという言葉は決して弱い人という言葉じゃありません」と、私の気持ちに寄り添ってくれました。もう一人のドリー夢メーカーがリハビリの先生。彼は、「腰塚さん、全てを失って絶望しても命と未来は残っていますよ。一緒に頑張らしましょう」と言ってくれました。心に光がさした瞬間でもありました。生きよう、という気持ちになれたのです。

花のように生きる、応援される生き方をする、そう決めて笑顔とありがとうを言うようになりました。そうしたら、奇跡が起きたのです。辛かったリハビリを頑張ろうと思えた理由は、信じて待っていてくれ、必要とされていると感じる人の存在と夢でした。

夢は今を生きる力、夢があるから強くなれます。夢には大きいも小さいもありません。あなたの今の夢はなんですか？今の私の夢は、毎日感謝の中でドリー夢メーカーと生きること、仕事は絶対穴をあけない、子どもたちのために先生・大人を応援することです。

ケガをして初めて自分の命の使い方を考えました。自分と人のドリー夢メーカーとして命の喜び生き方をしようと思いました。助けてもらった命で自分も人もキズつけないと決めました。そして、このケガからの新たなる第二の人生として「5つの誓い」で生きると決めました。

- ・口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう
- ・目は人の良いところを見るために使おう
- ・耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- ・手足は人を助けるために使おう
- ・心は人の痛みがわかるために使おう

一番大切な人は誰ですか？一番大切な人は私自身です。自分を大切にすると、自分の強さも弱さも受け止め自分のドリー夢メーカーと共に今を生きること、自分を大切にすることは周りの人のドリー夢メーカーになれること。どうせ、と自分をあきらめないことです。失いかけて気が付きました。命は人生の全てであり、「今」私が使え時間なのです。

感謝を言う人には集まり、悪口を言う人から人は離れる。笑顔の人に人は集まり、不機嫌な人から人は離れる。話を聞く人には集まり、聞かず人から人は離れる。自分も他の人も大切にすること。意識して行動していきます。

最後まで聞いてくれてありがとうございます。2つお願いがあります。一つ目、真の知識は経験あるのみ。しているとしているは大違いです。「感動」とは「感」じたら「動」くです。知るとできるは違います。感じたら動ける人であって欲しいです。命の喜び生き方をドリー夢メーカーとして大切な人と共に命を喜ばせてください。動かなければ伝わりません。

二つ目は、学校の講演で子どもたちに言うことです。大人を信じて欲しい。先生を信じて欲しい。友だちを信じて欲しい。自分の生命力を信じて欲しい。だからこそ皆さんが元気で楽しく元気に人生を生きてほしいのです。

命の喜び生き方・ドリー夢メーカーをお仲間、ご家族、子ども、先生方に広めてください。名古屋市の子供たち・先生方に命の授業ができた嬉しです。

ご縁をよろしく願います。これで私の命の授業を終わりにします。ありがとうございました。

例会のご案内

■今 週 1月26日(木) 第4回 CF (中間決算と組織)

■次 週 2月2日(木) 4RC合同例会
場 所：ヒルトン名古屋 5F 「扇の間」
時 間：12:00～13:40

■次々週卓話 2月9日(木)
テ ー マ：イニシエーションスピーチ
卓 話 者：横山 請悟さん